

# 出前講座報告書

Vol.3

テーマ

日 時:2016年10月7日  
開催場所: 県南保健福祉事務所

## 「話し合いに活かすファシリテーションのコツ」

講義の様子

ファシリテーションは、組織や地域の話し合い、研修等で参加者が主体的にテーマに向き合い、問題解決や学習内容の習得にいたるまでの道筋を組み立てるための技術です。技術といっても、環境を整え内容を分かりやすく明示することや、話し合いをしやすいするための工夫など、参加者への思いやりがキーポイントとなります。



## 講師紹介



福島県立医科大学  
医療人育成・支援センター  
助手 安井 清孝

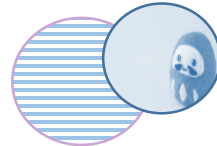
1970年 東京・赤羽生まれ

1997年 看護師免許取得

2003年から慶応義塾大学医学部シミュレーションラボ管理者として医療教育に従事。この時からシミュレーション教育を通じてファシリテーション技術を体得。

2012年から東日本大震災後に設立された福島県立医科大学災害医療総合学習センター助手。

趣味：キックボクシング



## グループワーク



90分のコースで、講義の合間に2つのワークを挟み、皆さん積極的に参加して下さいました。前半はアイスブレイクから始まり、ファシリテーションの概念、歴史、活用の場について解説しました。後半は話し合いや研修を進める上で困ること、ファシリテーションの4ステップ、ファシリテーションのコツ等について解説しました。

## 復習ポイント

## アンケート集計

参加者は13名、アンケート回収は13名でした。

評価項目	(そう)思う(※)
研修の資料や進行について 配布資料は適切だった	92%
時間配分は適切だった	85%
進行は適切だった	85%
研修の内容について 講義内容について理解できた	92%
講義は今後の保健活動に役立つと思う	85%
話し合いは今後の活動に役立つと思う	91%
学んだことを同僚に伝えたいと思う	92%

\* 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

- ・ファシリテーションの4段階は？
- ・発言を引き出すためのポイントは？
- ・優先順位をつけるためのツールの例は？

## 編集後記

出前講座の新しいテーマであるファシリテーションを、様々な職種の皆様と学びました。たくさんの演習が入った講義で学んだ実用的な技術を、是非職場で広めてください！（後藤）



## Organized by FMU



性差医療センター  
災害医療総合学習センター  
医療人育成・支援センター  
総合科学教育研究センター  
公衆衛生学講座

本ニュースレターのデザインはご当地シリーズです。

出前講座は「福島県保健師現任教育指針」の枠組みで行っています。

